



「矢代田少年探検隊」裏山冒険

# 地域で学び育つ子どもたち

矢代田小学校長 石川 淳



## 消えた群れ遊び

個室やテレビ等のなかった少年時代。学校が放課になると誰が声をかけるでもないのに、空き地や軒下に集まって、メンコ、コマまわし、陣地取り等、数えきれないほどの伝承ゲームを楽しむ事が常でした。

また、ある時は川へ、カジカ、アユ、ハヤをとったり、山に出かければ、栗、あけび、山ぶどうをとったりして、山や川はかつこうの遊び場となりました。

そこにはいずれも、先輩リーダーがおり、固い約束がありました。この約束は誰にも破る者はないと記憶しています。約束を破る事は重大事故につながる事を子ども心にも、肌で感じていたからだと思っています。

夕方、拍子木をカチカチと



発行 小須戸町中央公民館  
〒956-0101  
新潟県中蒲原郡小須戸町  
大字小須戸117番地  
TEL (0250) 38-2234  
FAX (0250) 38-5210  
編集 公民館報編集委員会

鳴らしながら「火の用心。マッチ一本、火事のもと」と大きな声で地域をふれて回る頃は家に帰る時間とされてしまっていた。

今、振り返ってみると、大変なつかしく思うのです。

さて、このごろの子どものちは、どこで何をしているのだろうか。地域から子どもが姿が消えてしまったようになっているのはなぜだろう。

もうすぐ二十一世紀。地域での「群れ遊び的な活動」から、自らの考えや生き方を模索し、あたり前の事があたり前にできるような子どもの育成をめざす事は、とても重要であると考えます。

## 企画・立案力の伸長を

他人が企画した行事等への参加率はきわめて高い。しかし、自らが企画立案し、参加するという体験は少ない。「矢代田祭り」実行委員のS君は次のように記している。

「矢代田祭りを行って、その中でも楽しかったのはウォークラリーです。このゲームは僕が提案したもので、しりとりにゲームを担当しました。

このゲームは一年生から順番にしりとを書いて、最後の文字が「ん」の字で終わら点数が上がるものです。ほかにも、イントロゲームやウォーラリーをさがせ、早口ことばのゲーム等がありました。これらのゲームは掃除班でやり、僕たちは三位入賞でした。今は学校中、歩き回ったのですが、とても楽しかったです。

## ちょこっと一言 (140)

### 楽しかった秋まつり

ぼくは、秋まつりに行った。行った日は、十月二十四日だ。ぼくは、楽しかったことはいくつもあるけど、その中で一番楽しかったことは、おもしろいゲームをやることだ。おもしろいゲームをやることだ。おもしろいゲームをやることだ。



諏訪町一 石田 光くん

次に来たのは、おいしいお昼ごはんを食べたこと

らしい成長剤が含まれていると思います。

ありがとう。周りの人たち



山中での「いも煮会」

す。今度はもっと楽しい矢代田祭りを考えたいです。」

この体験談からは、リーダー性の発揮、意欲的参加態度等、すばらしい力が育まれている事がわかります。

反面、孤立型の遊び(果ごもり)「室内で、一人きりで、体を動かさず、メカに囲まれて、ルールに従って、受け身の形で遊ぶ事」で子どもの生きる力は育つのか疑問です。

企画・立案・参加の持つ効果として

- ① 身体が丈夫になる
- ② 自然環境への接し方を学ぶ
- ③ 友だちと協力する仕方を覚える
- ④ やる気が芽生える
- ⑤ 創造力が育つ
- ⑥ 自分らしさを確認できる

などが期待できます。自らが主体的に係わりを持つと考えた活動は、子どもを心身ともに成長させるすば

だ。ぼくは、カルビどんを食べて大まんぞくだった。来年も、さ来年も、あったら、ぜひさんかしたいなあ。そして、おもしろいゲームをやることだ。おもしろいゲームをやることだ。おもしろいゲームをやることだ。



小学校三年

## 催し物ご案内

### そば打ち道場

今年の大晦日は、自分で作った「手打ちそば」で年を越してみませんか。当日は、五人前程度のそばをお持ち帰りできます。日時 十二月四日(火) 午後七時三十分

会場 中央公民館調理室  
定員 十六名(限定)  
持ち物 大きめのタッパ  
※調理のできる服装  
参加費 千円(材料費)  
講師 波多野久康さん  
申込先 三川村教育委員会  
申込先 十二月六日までに中央公民館へ

## スポーツ大会結果

第四十四回小須戸町剣道大会  
十一月三日(水・文化の日)  
小須戸町民体育館、小須戸中学校体育館で開催されました。県内より百三十七団体、二百四十六チーム、千八百八十一人の剣士が熱戦を繰り広げました。

Ⅱ大会成績Ⅱ (敬称略)  
優 勝 小須戸剣道スポーツ少年団  
本多 恭平  
丸山 隼  
田沢 孝紀



- 竹見敬太郎 陸 隼人
- 準優勝 修礼館(吉田町)
- 三位 神宮道錬成館(新潟市)
- 三位 剣心館道場(燕市)
- 〈中学生女子の部〉
- 優勝 五泉北中学校(五泉市)
- 準優勝 北辰中学校(和島村)
- 三位 刈谷田中学校(栃尾市)
- 三位 内野中学校(新潟市)
- 〈中学生男子の部〉
- 優勝 刈谷田中学校(栃尾市)
- 準優勝 北辰中学校(和島村)
- 三位 刈心館道場(燕市)
- 三位 坂井輪中学校(新潟市)
- 〈家庭婦人の部〉
- 優勝 修礼館(吉田町)
- 準優勝 交通剣友会(新潟市)
- 三位 新潟市剣道連盟
- 三位 海援隊(新潟市)
- 〈一般男子の部〉
- 優勝 小須戸町剣道連盟
- 斎藤 高峰
- 斎藤 浩
- 城丸 浩志
- 風間 裕輔
- 武田 峰和
- 準優勝 交通剣友会(新潟市)
- 三位 白根剣士会道場(白根市)
- 三位 白井剣士会(白根市)
- 町民グラウンドゴルフ大会  
十月十八日(水) 小須戸町親水緑地公園サッカー場で開催されました。
- 大会結果 (敬称略)
- 優勝 宮田 正(松ヶ丘)
- 準優勝 塚野征子(松ヶ丘)
- 三位 渡辺 節(松ヶ丘)

# 混ぜればごみ、分ければ資源

## 小須戸分館・第二回環境学習会

家庭、学校、地域。この三つの輪で子どもたちを育て、町づくりに取り組みたいと小須戸分館では「生活部」を発足しました。その第一歩が十月十五日に開催した「ごみ学習会」でした。

「あなたが出すごみ、考えてみませんか」とチラシで呼びかけたところ、二十三名の参加者がありました。

当日は午後七時三十分開会。役員保健福祉課の職員の方々から、いろいろな説明をしてもらいました。ごみを処理するためには膨大な費用がかかること。ごみの有料化により、燃えるごみが約二十三日減少したこと等々。

た。

また、今後については、分別収集によるリサイクル率のアップに力を入れていきたいそうです。やはり、混ぜればごみ、分ければ資源です！ごみをつくらない。ごみを出さない。リサイクルを徹底するために、やはり私たち一人ひとりの意識が大切なのではないのでしょうか。

小須戸分館生活部



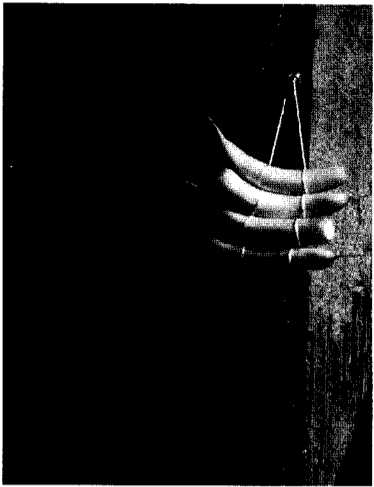
## 第五十四回 県展入選 おめでとうございませう

### 「秋 日」



島倉秀衛 さん

晩秋の夕暮を撮ってみました。



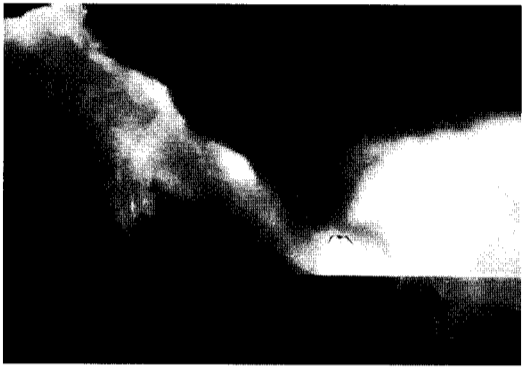
## 第十七回町民俳句大会 受賞発表

応募総数一四〇〇句以上の中から各部門に次の方々が入賞されました。おめでとうございませう。

- ◎中学生の部 (敬称略)
  - 町 長 賞 加藤礼子(蔵町四)
  - 町 長 賞 清水邦夫(松ヶ丘)
  - 公民館長賞 五十嵐恵(蔵町三)
  - 文化協会長賞 関大真(若葉町一)
  - 俳句同好会長賞 加藤礼子(蔵町四)
- ◎高校生の部
  - 町 長 賞 今井しずか(茨木)
  - 議会議長賞 笠原栄輔(新津市)
  - 教育長賞 間美咲(新津市)
  - 公民館長賞 土屋範恭(新津市)
  - 文化協会長賞 齋麻理子(新津市)
  - 俳句同好会長賞 吉田敏(新津市)
- ◎一般の部
  - 町 長 賞 吉沢文子(芥中一)
  - 議会議長賞 間野えり(新保三)
  - 教育長賞 花沢いせ子(赤四)
  - 公民館長賞 大貫松次郎(新保二)
  - 文化協会長賞 高橋みどり(赤四)
  - 俳句同好会長賞 五十嵐香月(赤四)

## 図書だより (新刊案内)

- ▼中央公民館▲
  - 雨あがる 山本周五郎
  - 秘密 東野 圭吾
  - 私のグランパ
  - 戌辰算学戦記 筒井 康隆
  - 独身生活 尾崎 将也
  - 妻と私 江藤 淳
  - ビヨコの蠅叩き 群ようこ
  - カラス 太田 光
  - 高市靖愛の知らばか人生パズル 高市 靖愛
  - 語りかける花 志村ふくみ
  - 依屋の不思議 村松 友視
  - 犬の記憶 終章 森山大道
  - 知っておきたい介護保険 長瀬二三男
  - 若き日の手紙 駒井 哲郎
  - 学校の失敗 向山 洋一
  - 新潟よ 望郷とメッセージ 朝日新聞新潟支局
  - 発掘！あるある大辞典 番組スタッフ編 他七十四冊
- ▼ふれあい会館▲
  - 顔(上・下) シドニー・シエルダン
  - 日本昔話百選 稲田 浩二
  - 唱歌・童謡ものがたり
  - にいがた水と緑の散歩道 読売新聞文化部
  - 錆びる心 日報事業社 桐野 夏生 他二十冊



### 「激 波」



吉井久好 さん

冬の荒れ狂う日本海の漁港で逆光ぎみに撮影しました。

**ふれあい電話相談**

教育相談をはじめ、いろいろな電話相談に応じます。

◆十一月の相談日  
三日(金)・十日(金)  
十七日(金)・二十四日(金)

◆受付時間  
午後一時～五時

◆電話番号  
三八一三三〇〇

◎お泊りは「いわねん」USJへ  
◎秘密は、固く守ります。

## VOICE & VOICES 私はある VOICES 私を考える

### 小学校の「ふれあいフェスティバル」で感じたこと

九月二十六日秋晴れの日、家族でとても楽しい一日を過ごしました。近所の小学校の子どもを持つお母さんから「ふれあいフェスティバル」をするので子どもと一緒に参加してみないかと、パンフレットをもらいました。

日頃、家のまわりや近くの公園で遊んでいる子ども達にとつて、あの広々とした「親水緑地公園」で遊ばせたらどんなに喜ぶだろうと思いい待ちに待っていました。

当日は、弁当持参で、おじいちゃん、おばあちゃん、子ども二人と一家総出で出かけました。いつもは通りすがりに見えていた公園でしたが、行ってみると、とても広く心まで広くなりました。太陽の暖かさや風の心地よさを体じゅうがリフレッシュしました。

子ども達は、風、グライダーを作る班に入れさせてもらい、先生の好意から風を二ついただきました。それぞれ自分の好きな絵を書き、オリジナルの風のできあがり。

風は、「風日和」風は風についてグングン舞い上がり風糸の手元を体に巻きつけて、青空の下でうなりをあげる風とたわむれました。

二人の子どもにとつて「風あけ」は初めての体験でした。また、小学校のお兄さん、お姉さんと遊んでもらったり、お話ししたり、本当に楽しかったです。見ていた私もうれしくなりました。

一歩、広い所に踏み出すといろいろな人との出会いがあり、自然と一体化し、心まで洗われました。こんな機会を与えてくれた小学校関係の方々に感謝いたしております。

—— 幼児の母 ——

## 文芸欄

蛸鳴く自問自答をしてをれば 内山越楼  
 名月や小袖に香のたきこまる 馬場綾子  
 梵鐘に明けゆく村や秋彼岸 五十嵐香月  
 月の出を人待つように待ちをりぬ 佐久間久子  
 木の間透くつるべおとしの波がしら 間野良遊  
 園児等の競ふ玉入れ赤とんぼ 間野えり  
 赤のまままだ退院の兆なし 丸山栄子  
 木犀の香を運びくる下校の子 中野雅世  
 足もとに鳩の寄りくる紅葉寺 吉沢文子

柳 実りすぎ古古米さまようさる 長井武雄  
 娘から恋の実りを聞く電話 藤井春江  
 台風の前路気になる実り秋 古河多主  
 リハビリに励み復帰は射程距離 小林みのる

## シリーズ 「今、子どもたちは」 (39)

### 多くのひとのふれあい

私は、今年初めて、小須戸中ポランティア委員として、「ふれあいフェスティバル」に参加しました。

当日はあいにくの雨で、内心がっかりしていましたが、そんな気持ちも参加者の人達の楽しそうな顔を見ているとなくなっていく、ゲームの準備や手伝いに、やりがいを感じることができました。

このフェスティバルには、外国人の英会話の先生もたくさん参加していました。その人達と片言の英語とジェスチャーでコミュニケーションすることができました。また、セカンドパーティーでは、さ

